

■ 実施期間：平成28年7月6日 ～ 平成28年10月13日

■ 訪問者数：495人（365世帯） 男性211人 女性284人

■ 平均年齢：79歳

■ 反射材等の配布：196個

☆アンケート調査結果

①運転免許を持っていますか？

なし（以前から）	なし（返納）	自動車	バイク	小型特殊	その他
20.1%	14.3%	58.6%	7.0%	0.0%	0.0%

②外出の際は、主に何を利用しますか？

1人では外出しない	自動車	バイク	自転車	徒歩	シニアカー
2.7%	41.9%	5.5%	8.7%	14.6%	0.6%
その他（家族の車・タクシー・バス）					
26.0%					

○地域性から運転免許証を返納している方は少なく、他の校区と比べると自動車を使って外出する方が多いです。

○自動車を運転されている方で高齢者マークをつけている方はまだまだ少ないようです。

③外出の主な目的は何ですか？

買い物	通院	趣味・公民館等の活動	運動・散歩	仕事	その他
38.2%	18.3%	5.8%	6.8%	22.1%	8.8%

○外出される主な目的は、買い物で外出される方が特に多いですが、ほかの校区と比べると仕事で外出される方が多いです。

④交通事故にあったことはありますか？

ある	ない	ヒヤッとしたことはある
21.7%	74.0%	4.3%

⑤夕暮れや夜間に外出しますか？

する	しない
40.8%	59.2%

○外出の際によく自動車を使われているため、交通事故を経験している方が多いです。

○仕事等で帰宅が遅くなり暗くなっているという意見がありました。

⑥転倒防止対策の実施状況（聴き取り世帯 182世帯）

対策をしている	対策をしていない
12.1%	87.9%

○寝室にタンス等の家具を置いている方は少ないようですが、食器棚等の転倒防止対策（L字金具・突っ張り棒）をしている世帯は約1割で約9割の世帯は対策をしていません。

田野地区の高齢者の方々が**特に危険を感じる**場所は以下のとおりです。
・ヤマサンセンター、木村チェーンを横断する歩行者が多い。



また、交差点で方向指示器を出さない車や曲がる直前で出す車が多いや夜間、反射材をつけていない歩行者は見えにくい危険という意見もありました。

今年に入ってから市内の交通事故による死亡者は10月4日現在で1名で、昨年に比べ5名となっています。しかし、県内では高齢者の交通事故死者数は54人中31人と半数を超えている現状です。また、9月21日～9月30日の間で行われた「秋の全国交通安全運動」期間中に県内で高齢者の交通死亡事故が3件発生しました。

聴き取りの結果から、田野校区の高齢者の方が外出される主な目的は「買い物」と「仕事」で約6割を占めています。

- ・車を運転される方は、交差点では速度を落とし、前後左右の安全確認を行って運転しましょう。
- ・高齢者の方が横断歩道のないところを渡ろうとしている場合は、車の速度を落としましょう。
- ・自転車利用者は、道路を横断する時や道路を右左折する時は、必ず前後と左右の安全確認をしましょう。
- ・夜間外出される歩行者は、反射材を着用し懐中電灯を携帯するなど、目立つようにして事故に遭わないようにしましょう。